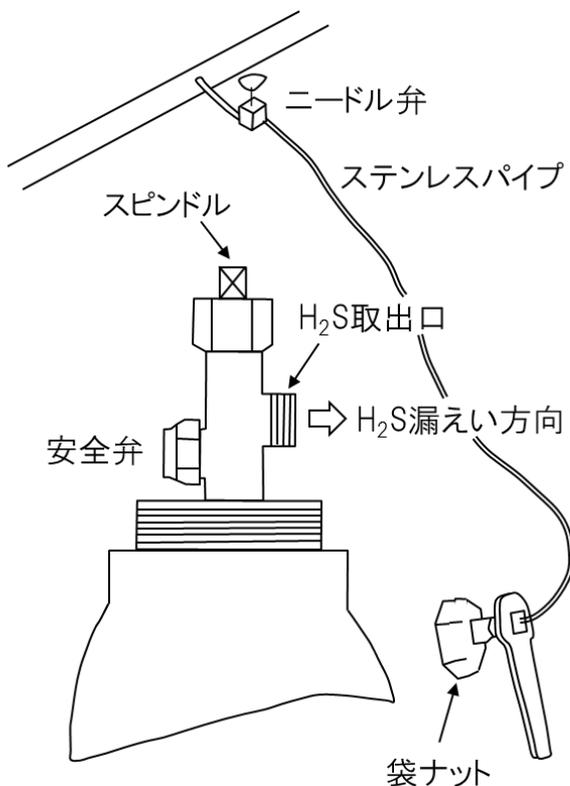


硫化水素ポンベの交換中に発生した硫化水素中毒



【発生場所】

製鉄原料や製品の各種検査や分析を行っている事業場屋外のボンベヤード

【被災原因】

ボンベ交換の際、スピンドル用ハンドルを装着したまま移動し、壁にぶつかった際に、スピンドルが開き、硫化水素ガスが噴出。

【被災状況】

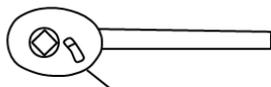
被災者はガス吸入によりその場で昏倒し意識不明。異臭に気付いた同僚に発見され、救助され病院に担ぎ込まれた。

【対策】 からの抜粋

[1] 硫化水素ポンベおよびその他のポンベを交換する場合の作業標準を作成し、これにより日頃から関係作業員に対して教育・訓練を行うこと。



スピンドル用ハンドル(通称ラチェット)



回転方向選択スイッチ
(逆方向は空回りとなる)

～理研計器からのご提案～

作業員が硫化水素モニターを装着して作業することで、万が一の硫化水素漏洩を早期に発見し、作業員、及び、周囲に対して危険を知らせることができます。